

# 日野市コミュニティ施設個別施設計画（素案）に対するパブリックコメントの結果について

## 1. パブリックコメント募集の実施概要

(1) 意見募集期間 令和6年（2024年）2月9日（金曜日）から令和6年（2024年）3月11日（月曜日）まで

(2) 意見募集方法 広報・ホームページでの周知

市内各図書館、中央公民館、中央公民館高幡台分室、七生支所、豊田駅連絡所に素案を設置

(3) 意見受付方法 地域協働課に持参、郵送、ファックス、Eメール

## 2. 意見・提案数

(1) 通数 6通

(2) 意見数 96件

## 3. ご意見と市の考え方

項番	素案該当頁	ご意見	市の考え方	計画への反映
1	18～28	施設の老朽化や維持・管理の費用もかかっていることについては、データとして納得できる。施設の稼働率について、単純に利用人数だけでしょうか？鹿島台地区センターはコロナ禍に会議をオンライン開催できるように設備を整えたので、自治会の総会・班長会・講演会などハイブリッド方式で開催しており、その場合配信場所の地区センター利用人数は少ないと思われます。最初のとっかかりとして単純に利用人数から稼働率を計算するのは構いませんが、個別の聴き取り調査を行うのであれば、再度コロナ禍になっても対応できるような取り組みを続けている点や設備についても評価してほしい。	施設の稼働率は、利用人数ではなく、利用件数を基に算出しております。個別の施設の方向性を検討する際には、さらに詳細な利用状況調査や地域住民、利用者との対話を行い、利用実態や地域の取り組みなどを確認させていただきながら進めます。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
2	32	老朽化が著しい施設や稼働率の低い施設の統廃合については納得できる。統廃合するのであれば、危険のない場所、コミュニティバスやミニバス等で移動できる、小さな子どもから高齢者まで利用しやすい施設を考えてほしい。	個別の施設の方向性につきましては、施設の安全性や交通手段等も含めて検討してまいります。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。

3	34～35	<p>バリアフリー対応・駐車場・洋室やホール（総会や体操などができる）…以前から要望していたことです。統廃合するなら、ただ数を減らして現状の施設を利用させるのではなく、きちんとした施設を建ててほしい。地区センターの場合は自治会が管理することで無償でしたが、自治会などの団体は年間使用料を払い、自治会同士で自主管理するか、あるいは普通の交流センターのように管理人が常駐するのであれば各団体や個人が利用料を払う方式にしてもよいので、とにかく安全できちんとした施設を建てて、利用しやすくしてほしい。</p>	<p>個別の施設の方向性を検討する際には、さらに詳細な利用状況調査や地域住民、利用者との対話を行い、市民の皆様にとって、安全で使いやすい施設を検討してまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
4	41	<p>きちんと住民のニーズを聞き取り調査してほしい。また、傾斜地の住民が利用しやすいような手立てを一緒に考えてほしい。（例えば高齢者の集まりの日にワゴンタクシーで巡回してもらうなど）また、小学校区単位で考えるのはいいのですが、学区の外れにある住宅地のことを忘れないでほしい。小学校近辺だけにされたら、どうやってそこまで行けばいいんでしょうか？駐車場があっても車を運転する人ばかりではないので、公共交通機関で片道10分くらいでしょうか？そのくらいの範囲で考えていただけないでしょうか？とにかく傾斜地の住民は全員徒歩で移動可能とは限らないです。</p>	<p>個別の施設の方向性を検討する際には、距離だけでなく、傾斜地等の移動に係る負担や動線を考慮して、実態に即した検討を進めてまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>

5	-	<p>鹿島台地区センターは高幡山の土砂崩れで屋根に穴が開いたこともあり、移転・建て替えを要望していたが常に却下されてきた。また丘陵地帯にあるので、高齢者にとっては縦方向への移動が困難で、移転するなら横方向へ移動される方が多いのが現状だ。もし統廃合され、別の場所に地区センターが移るなら、できれば交流センターのように鉄筋の建物にしてほしいし、駐車場もつけてほしい。またかしまだい広場が災害時の一時避難場所にもなっているので、ぜひかしまだい広場とかしまだい公園と一体化したような地区センターにして、災害時にも利用できるような施設にしていだきたい。それならば近隣の地区センター利用者も利用しやすいのではないだろうか？</p> <p>また鹿島台には低層住宅地には珍しいフォレストエージ・ガーデン54・ブルームコート管理組合があるが、鹿島台自治会の活動とは別に個々の管理組合で地区センターを利用させてもらっている。</p> <p>老人会はなくなったが、現在ふれあいサークルとしてひの筋体操やカラオケなどで高齢者の交流も行われており、子ども会も新歓・夏休み・クリスマス会などに利用している。</p> <p>できれば良い形で地区センターを残してほしいと思う。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>個別の施設の方向性につきましては、さらに詳細な利用状況調査や地域住民、利用者との対話を行いながら検討し、決定してまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
6	36	<p>最後の文章について、句読点を付けた方が良いと思います。</p>	<p>ご指摘を踏まえ変更いたします。</p>	<p>ご意見を反映します。</p>
7	-	<p>鹿島台自治会はかねてより、土砂災害防止法第24条及び日野市立地区センター条例施行規則第2条に抵触しない形での建て替え及び鹿島台地区公園への移転をお願いしていたが日野市予算の都合で長く先送りにされている経緯がある。この経緯を考慮してほしい。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>個別の施設の方向性につきましては、さらに詳細な利用状況調査や地域住民、利用者との対話を行いながら検討し、決定してまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>

8	-	<p>地区センターは日野市から管理を有料にて自治会に依頼され、自治会にて管理・運営されている。管理費は広義のコミュニティ醸成の為に助成金であるとも思慮する。本パブリックコメントの日野市コミュニティ施設個別施設計画に関し、長く地区センターを管理してきた自治会へ説明がされていない認識だ。日野市コミュニティ施設個別施設計画施行にあたり、日野市が勝手に進めるのではなく、日野市民として自治会及び自治会内コミュニティ団体との十分な会話の場を求める。</p>	<p>本計画は、コミュニティ施設全体に係る基本的な考え方を整理したものです。個別の施設の方向性を決定する際には、さらに詳細な利用状況調査や地域住民、利用者との対話を行いながら検討を進めてまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
9	11	<p>公共施設等総合管理計画と連携を示されている“まちづくりマスタープラン”のパブリックコメント（平成30年12月1日～平成31年1月9日に実施）にもコメントさせていただき、日野市に修正いただいたとあえて前置きを示すが、距離バッファ設定は平地と多摩丘陵地では異なるアプローチが必要だ。日野市独自の多摩丘陵地のアプローチを行わなければデータ解析は陳腐である。平地の300mと多摩丘陵地の傾斜が強い土地の300mでは異なる。P11にて施設の配置状況を300m・400m・500mと表現されているが、該当地の状況が同じ平地であればデータ解析として妥当と考えるが、平地と多摩丘陵地であればデータ解析としてはデータ解析指数としては不適合だ。また、目的や属性により徒歩移動可能距離は異なる。解析指数の見直しと表現を願う。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただき 本計画では、貸室機能を持つ施設の配置状況を示すために300m、400m、500mの徒歩圏域での重複図を掲載しておりますが、平地と傾斜地で移動に係る負担に差異がある事は認識しておりますので、個別の施設の方向性を決定する際には、距離だけでなく、傾斜地等の移動に係る負担や動線を考慮して、実態に即した検討を進めてまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
10	-	<p>仮に、地区センターのいくつかが統廃合され、駐車場完備の大箱施設に置き換わるということであれば、高齢者や車などの移動手段がない方でも容易に利用できる手段（公共交通のラストワンマイル問題も含め、オンデマンド交通やライドシェアなど）を統廃合のプランに加えてほしい。</p>	<p>個別の施設の方向性につきましては、さらに詳細な利用状況調査や地域住民、利用者との対話を行いながら検討し、決定してまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>

11	2	<p>「まちづくりマスタープラン」が日野地域未来ビジョン 2030・日野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の下部としての扱いとして表現されているが、日野市まちづくりのマスタープランとして「まちづくりマスタープラン」が上位ではないのか確認したい。</p>	<p>「日野地域未来ビジョン 2030」「日野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は日野市の総合的な方針を示すものであり、各計画の上位計画となります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
12	-	<p>日野市緊縮財政によるしわ寄せが「地域住民の居場所」である地区センターに対して暗に狙い撃ちされた感が否めなく困惑している。日野市財政再建計画・第6次行財政改革大綱実施計画にあるコード040301、強化取り組み方針“4 経営基盤の最適化”の取り組みの一つに個別施設計画及び地域別計画の策定・実行マネジメントの導入（劣化状況調査）とあるが、本計画はその一環なのかを確認したい。また、日野市財政再建計画・第6次行財政改革大綱実施計画にあるコード040301の一環であるのであれば、年度毎の目標値が未掲載でどのように効果測定を行うのかを確認したい。</p>	<p>本計画は、日野市公共施設等総合管理計画を上位計画とし、日野市財政再建計画・第6次行財政改革大綱実施計画のコード040301に掲げる個別施設計画の位置付けです。</p> <p>目標値につきましては、年度ごとの設定ではなく、長期的な視点で「将来発生する財政削減計画額」として掲載しております。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>

13	8	<p>なぜ、地区センターが1970年代に多く作られたのかを分析されたのかを問う。1970年代は多摩地域で宅地造成が多くなされ、区内で働くサラリーマン、生まれも育ちも仕事も考え方も異なる市民たちが多く移り住んだ。複雑なバックボーンを持つ市民の新しいコミュニティ醸成のために“気軽に歩いて行ける”ところに寄りあえる“地域住民の居場所”を市民から求められて行政が呼応した形である。気軽に歩いて行ける、その地域の住民であれば優先的に使える居場所が地区センターなのである。大箱のコミュニティセンターとは成り立ち、ターゲットスコープが異なる為、同じ土台で統廃合を考察することは乱暴と言わざるを得ない。地区センターは荷物搬入などの為に駐車場1台分は最低でも必要と思慮するが、すべての方が車両を所持しておらず、高齢者の免許返納の進む中で気軽に徒歩で行ける居場所は地域コミュニティには必要不可欠だ。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただき ます。 個別の施設の方向性につきましては、 さらに詳細な利用状況調査や地域住 民、利用者との対話を行いながら検討 し、決定してまいります。</p>	<p>市の考え方は 左記のとおり です。素案の 変更は行いま せん。</p>
14	9	<p>地区センターは地域の寄り合い所の性質、お金を生み出す施設ではない為、稼働率を指標値として価値を推し量るのは無意味である。地域住民が必要な時に優先的に的確に使用できているかが重要だからだ。たとえば、自治会規約に明記される月に年度総会が、多くの住民が歩いて集まれる場所で実施されることは市民コミュニティ醸成で意味がある。また、稼働にて地域センターの価値を推し量るのであれば、地域の世帯モデルの考慮や地域センターを使用する想定の人口密度あたりの数値を考慮すべきだ。地域の世帯の多くが夫婦共働きで、大手町で8時50分から17時10分まで勤務、少し残業して帰宅ということが一般的な世帯モデルであれば、地区センターが使用できる時間帯に日野市にはおらず、その間の平日稼働は0パーセントとなる。使用できるのは土曜日、日曜日に集中するために自治会内の団体に譲り合って使用している稼働状態だ。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただき ます。 稼働率は、本計画対象施設の状況を把 握するために必要な情報の一つとして 記載しております。</p>	<p>市の考え方は 左記のとおり です。素案の 変更は行いま せん。</p>

15	34	「日野市コミュニティ施設個別施設計画（素案）」とあるが実行計画を示した記載がない。具体的に何を計画されたかを示してほしい。community-soan0209.pdf・34頁内の方針という項目が計画とされているのか確認したい。仮に方針（Vision）が計画（PDCAであたるP）と示されているということであれば、“検討が必要です”といった【感想を述べる】表現は個別施設計画を示すには不明瞭ではないかと思慮する。計画であるのであれば“検討し実行する”といった表現が適当である。“検討が必要です”と感想を記述されている部分は“検討し実行する”ということなのかを確認したい。	34ページから40ページについては施設類型ごとに、現状に対する基本的な認識と方針を記載しています。本計画の計画期間で実行する事項は、P41に示す短期目標、中長期目標に基づき、進めてまいります。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
16	42～43	パブリックコメントは広く市民にさまざまな忌憚ない意見を求めることを目的にしている。その資料にコラムを掲載することは意見の誘導ではないかと思慮する。コラムはなぜ記載したのか、これは誘導資料ではないか確認したい。	コラムにつきましては、市内外での多様な取り組みをご紹介するために掲載したものです。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
17	9	2020年から2023年は感染予防の為に度々、日野市行政からの使用禁止が通達されていた。過去5年の稼働率推移表は市民使用禁止期間を除いた日数で稼働率を算出しているのかを確認したい。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設休館期間は、稼働率を算出する際の施設稼働日数から除いております。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
18	17	ハード評価について項目の不備を問う。老朽度、健全度の2項目のみだが、電気メータ契約や食事提供可能なキッチン、バリアフリーをざっと挙げただけでも各地区センターは異なる。地域によってはエアコンを2台フル稼働すると電気ブレーカーが落ちてしまうような建屋とエアコン4台稼働しても問題なく使用し続けることができる建屋では使用する市民の満足度は異なる。満足度が高い建屋ほど、実績度は上がっていると稼働率から推察される。食事提供可能なキッチンや	ご意見として受け止めさせていただき ます。 本計画の対象施設に共通するハード評価の項目として、構造や築年数から老朽度を、耐震性や法定点検結果から健全度を指数化しております。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。

		電気メータ契約くらいはハード評価に加えることを願う。		
19	17	ハード評価、2 健全度の文献調査項目について、ハザードマップ、土砂災害防止法第 24 条及び日野市立地区センター条例施行規則第 2 条に抵触の是非も加えることを願う。ソフト評価について。3 重要度(立地)に“土砂災害・浸水等災害区域の該当有無”が項目としてあがっているが、これは、ハード評価ではないのか確認したい。	ご意見として受け止めさせていただきます。 本計画では、立地に係る評価についてはソフト評価としております。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
20	17	評価指標について日野市という地政と地域課題を考えた指標なのかを問う。評価指標は地域課題を評価するにおいて、様々な地域への確にアプローチするために一定数の標準化、必須指標は必要かと推測するが、本事項評価指数に関して、多様な地域課題に応じて柔軟に評価できるような地域が自ら自由に考案し設定する評価指標が全く入っていない。日野市は多摩丘陵地と平地に大きく分かれる。このシンプルな問題 2 点さえも反映された指標は入っていない。評価指標にて評価するのであれば、項目を増やし評価を願う。	ご意見として受け止めさせていただきます。 ご指摘の通り、施設によって地域性等に差異があると認識しておりますが、本計画では、対象施設全体に共通する項目を評価指標としております。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
21	17	そもそも論、コミュニティ施設の適正配置、適正管理方針は市民サービスの最大限の配慮に基づくことが基礎となるべきだ。つまり、この評価指標を使って、市民サービスをどのようにアウトプットするのか、地域コミュニティをデザインしていくのかを提示しなければ、日野市行政の仕事として日野市民は評価できない。また、評価指標を使用して何をアウトプットにするのかをスコープ化しなければ的確な PDCA サイクルは構築できない。市民サービスのアウトプット、地域コミュニティデザインを明確にご提示願う。	ご意見として受け止めさせていただきます。 本計画では、評価指標に基づく現状認識と施設類型ごとの課題整理及び施設管理に関する基本的な方針を示しております。 コミュニティ施設の適正配置の検討にあたっては、コミュニティ施策の検討が必要であると考えております。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。



22	-	<p>これまで、地域のコミュニティ醸成の一助を担ってきた自治会の意思を尊重してほしいと希望する。また、仮に地区センターを大きな建屋に統廃合して自宅から遠くなくても、容易に集まれる“足”=オンデマンド交通やライドシェアリングを無料で提供することを約束してほしいと希望する。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
23	-	<p>本計画は、「公共施設等総合管理計画」の下に「個別計画」が作成されるという構図になっている。したがって、ほかの計画で記載されている共通ページや考え方が記載されている。だが、本計画に指摘事項が他の計画で確定しているからという理由による「排除をしない」ことを了承いただきたい。つまり、指摘事項が、他の計画と共通ページ・考え方の場合もある。</p> <p>また、市民は、市政に対して注視し、適宜パブリックコメントを出しているが、全てを確認できない。したがって、「公共施設等総合管理計画」に記載されていることも、本計画に再掲することは、内容により必須であることを理解いただきたい。例として、本計画のパブリックコメントに対して、数値の有効数字について記載されていないが、「公共施設等総合管理計画」には記載されている。再掲すべきである。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
24	1	<p>「日野市公共施設等総合管理計画」を平成 29（2017）年 3 月に策定し、令和 5 年（2023）年に改定 →過去に策定した計画からの差異分析、実績分析、進捗などをきちんと実施したうえでこの計画を立てるのが筋ではないか？その前提無くして、この計画自体はあまりにもひどい。最初の状況として、その分析結果を最初に記載するべきである。そうでなければ、この計画を作成しても全く意味をなさないと思うのが一般的と考える。</p>	<p>上位計画である「日野市公共施設等総合管理計画」に定める基本的な方針に基づき、本計画を策定しております。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>

25	2	<p>位置づけの図</p> <p>→本計画が、策定済みの個別施設計画に入っているのはおかしいのではないか？パブリックコメントを経て修正して策定されるものであり、「策定済み」ではないので別枠で記載願いたい。P1で「日野市公共施設等総合管理計画」を平成29(2017)年3月に策定し、令和5(2023)年に改定とはあるが、本計画が策定済みとは一切記載されていない。図を修正すべきである。</p> <p>→本計画は、「公共施設等総合管理計画」を冠とし、「まちづくりマスタープラン」や「地域防災計画」、「第6次行財政改革大綱実施計画」と連携していると記載あるが、「まちづくりマスタープラン」や「地域防災計画」、「第6次行財政改革大綱実施計画」で提出したパブリックコメントが活かされていない。もう一度パブリックコメントを見ていただき、本計画に関する内容の進捗状況や対応状況について関係箇所を記載願いたい。それが市民サービスであるとする。全件確認したわけではないが、検討するといった項目に対して今までアクションが見られず、この本計画にも一切触れられていない、または逆行している内容が多い。その点再度確認していただきたい。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>位置づけの図中、「策定済みの」は削除いたします。</p>	<p>一部ご意見を反映します。</p>
26	2	<p>令和5(2023)年3月に改訂された日野市公共施設等総合管理計画に倣い令和6(2024)年度から令和34(2052)年度までの29年間とします。</p> <p>→第6次行財政改革大綱実施計画では、ファシリティマネジメントとしてR28年(2046)に将来発生する財政削減計画額に26,100,000,000円が計上されている。このうち、コミュニティ施設についてはどれぐらい含まれているかを、記載願いたい。また、なぜこの財政計画の2046年と合わず、R34年にしているのか記載願いたい。全て整合が取れる状態にしていただきたい。</p>	<p>公共施設等総合管理計画では、市全体の公共施設の面積縮減率約16%、縮減面積約5.6万㎡、30年間で縮減コスト261億円を目標としています。</p> <p>本計画対象施設の延床面積合計は約2.1万㎡ですので、公共施設等総合管理計画と同様の考えで16%の面積削減を行った場合、コミュニティ施設としては約13.4億円の削減となります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>


			<p>計画期間につきましては、平成 29 年 3 月策定の日野市公共施設等総合管理計画の計画期間は 2046 年度までで、令和 5 年 3 月改訂の同計画の計画期間は 2052 年度までです。コミュニティ施設個別施設計画の計画期間はこの上位計画（改訂版）にあわせております。公共施設等総合管理計画の計画期間は、長期的な将来見通しの分析が必要なため、日野市では 30 年程度の計画期間を設定しています。</p>	
27	3	<p>本計画の対象とするコミュニティ施設は、地区センター66 施設、交流センター等 11 施設（交流センター8 施設、その他 3 施設）の合計 77 施設とします。</p> <p>→少なくとも、「平山台健康・市民支援センター」は日野市の避難場所であることから、本計画に含めるのは問題であるので、除いていただきたい。それが通るのであれば、コミュニティ施設として検討するのではなく、避難所としての機能を持たせるなどの複合的な施設に変化させていくのもありと考えるがこの本計画には触れられていない。そういった点も考慮に入れて記載変更していただきたい。</p>	<p>本計画では、地域協働課所管のコミュニティ施設を対象としており、施設ごとの事情で対象施設から除く事はしておりません。</p> <p>個別の施設の方向性につきましては、さらに詳細な利用状況調査や地域住民、利用者との対話を行いながら検討し、決定してまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>

28	3~4	<p>表について →構造について、きちんと凡例を入れて説明を入れて欲しい。 例：RC 鉄筋コンクリート造（Reinforced Concrete Construction） →建築年度について、建て替えなどあれば、最初の建設年度、2度目の建設年度等経緯が分かるように記載していただきたい。2000年度以降にも建設されているが、その際にはすでに木造で築30年近く経過しているにもかかわらず、建て替えされていない地区センターもある。なぜ、新しく立てて、それらの地区センターが建て替えられなかったのかの経緯についてもきちんと説明を記載していただきたい。</p>	<p>凡例につきましてはご指摘を踏まえて記載させていただきます。 また、地区センター建替え等の個別の施設の状況につきましては、各施設の方向性を検討する際に、必要に応じて情報提供させていただきます。</p>	一部ご意見を反映します。
29	5	<p>地図 →地図から対象外の建築物は除くか、別の色を点として記載していただきたい。点が抜けているのか抜けていないのか非常に分かりづらい。そもそも、対象外の建築物を入れている理由が不明。 地図の説明として、「本計画の対象施設」と言っていることから、その他の施設が入るのはおかしいので除いて記載いただきたい。含めるのであれば、含めた経緯や、含めた施設の詳細情報を記載願いたい。 また、地図のタイトルとして、「・」が使われており、中点は語と語を”連結的に（独立性を保ちつつ一対もしくは一体として）用いる”場合に使うのが一般的であるので、適切に使っていただきたい。この場合、コミュニティ施設・市内配置状況ではなく、「・」を空白にするか、「の」とかにするかが良いかと考える。</p>	ご指摘を踏まえ変更いたします。	ご意見を反映します。

30	6	<p>グラフについて →グラフに関して基本的な事を記載していただきたい。軸ラベル、単位など、抜けているので記載いただきたい。また、総人口は男女別か、年齢別の積み上げグラフにした方がよいのではないのでしょうか？ また、出典について、総務省統計局（e-stat）から引用しているのであれば、指定された通りに記載願いたい。他の出典の場合でも、同様です。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。 グラフの表示形式につきましては、統一させていただきます。 出典につきまして訂正はございません。</p>	<p>一部ご意見を反映します。</p>
31	7	<p>将来推計人口のグラフ →令和42年のように、%の合計が100%になっていないです。100%になるように修正してください。 →令和47年（2065）だけ「年」の記載がありません。追加してください。</p>	<p>ご指摘を踏まえ変更いたします。</p>	<p>ご意見を反映します。</p>
32	7	<p>コミュニティ施設は、学習、文化、スポーツ、健康増進等の地域の活動拠点となる機能を有していることから、人口減少や高齢化により、施設の利用方法や求められる機能の変化が想定されます。 →平山台健康・市民支援センターのように避難場所となっているところもあり、ここで記載されているコミュニティ施設は、学習、文化、スポーツ、健康増進等に限らず、ハード評価・ソフト評価が高ければ避難所としても利用可能になってきます。その点を考慮して、記載してください。 また、年齢別の稼働率を考慮に入れていないのに、「高齢化」によって施設の利用方法や求められる機能の変化が想定される」という想定はどのようなものなのでしょう？年齢別の分析を行ったうえで、その想定を明確に記載ください。結局、生産年齢人口の方が利用するより、老年人口の方が利用する方が多いのではないかと思います。想定するのであればその確証となるデータを提示してください。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>

33	9	<p>地区センター全体の平均稼働率は 20%未満ですが、稼働率が 50%以上の地区センターもあり、施設によって差が大きくなっています。</p> <p>→稼働率の計算方法について提示ください。それぞれ地区ごとの特性があると思いますので、一概に稼働率で検討するのは問題だと思います。稼働率が高いまたは低い理由を明確にする必要があると考えますので記載ください。</p>	<p>稼働率は、施設ごとの年間利用可能件数に対する実際の年間利用件数で算出しております。</p> <p>稼働率は、本計画対象施設の状況を把握するために必要な情報の一つとして記載しております。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
34	9	<p>稼働率の推移グラフ</p> <p>→推移を表すのであれば、折れ線グラフが妥当と考える。棒グラフの場合は、比較であって、推移であれば折れ線グラフが妥当である。また、グラフの軸のタイトルがないので記載してください。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>グラフの表示形式につきましては、統一させていただきます。</p>	<p>一部ご意見を反映します。</p>
35	9	<p>地区センター稼働率内訳</p> <p>→50%以上が 1 で 40%以上が 1 であるのに、円グラフ上では 50%以上が 1%に対し 40%以上が 2%になっている。もう少し数字に責任をもってチェックしていただきたい。</p> <p>また、50%以上、30%以上のところが円グラフでどこを示すのか、わかりづらいので線を入れて欲しい。また、円グラフにタイトルをつけて記載ください。また、稼働率推移のグラフでは、%に小数点第一位まで載せているので、円グラフも小数点第一位に統一して記載してください。</p>	<p>ご指摘を踏まえて修正させていただきます。</p>	<p>ご意見を反映します。</p>
36	10	<p>管理運営経費の推移グラフ</p> <p>→推移であれば、折れ線グラフが妥当と考える。また、P9 ではグラフ上に数値を書いていたので、統一感からこちらのグラフにも数値を入れていただきたい。また軸タイトルは必須であり記載ください。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>グラフの表示形式につきましては、統一させていただきます。</p>	<p>一部ご意見を反映します。</p>
37	10	<p>管理運営経費の推移表</p> <p>→P9 の表にはタイトルがあるが、こちらにはないので記載ください。</p>	<p>グラフの表示形式につきましては、統一させていただきます。</p>	<p>ご意見を反映します。</p>

38	10	<p>施設の維持管理、運営に係る光熱水費、委託料、賃借料、人件費、修繕料等の、経常的な管理運営費用の状況を記します。</p> <p>→管理運営経費の推移グラフとの対比が取れない。「管理運営費用」＝「管理運営経費」であるならば、同じ用語を使用すべき。用語が別なので、全く理解できないので用語の統一をして記載ください。「管理運営経費」は「管理運営費用」の一部の事なのか明確に記載していただきたい。また、「経常的な」管理運営費用とあるので、「経常的でない」管理運営費用も明確に記載してください。</p>	<p>用語の不統一及び分かりにくい表現についてはご指摘を踏まえて修正させていただきます。</p>	<p>一部ご意見を反映します。</p>
39	10	<p>地区センターの直近 5 年間の管理運営費用の平均は 37,795 千円です。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて休館や利用の自粛</p> <p>→自粛とあるが、地区センターが自粛するわけではなく、「規制」や「制約」ではないのか？そもそもこの文章 主語が明確でないためわかりづらい。わかりやすい文章に修正して欲しい。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
40	11	<p>対象施設から 300m、400m、500m圏域で見た場合に、どのくらい圏域が重複しているかを示しており</p> <p>→ここで言っている 300m、400m、500m圏域というのは、徒歩距離なのか、直線距離か明確にしていきたい。特に、川があり線路があり渡れる箇所は決まっているため、迂回しなければいけないところが多いかと考える。それを考慮しているのかどうか、明確にする必要がある。Google Map で確認した限りでは、徒歩圏内でないように思われる。</p> <p>→ここでいう対象施設は本計画の対象施設なのか、重複対象とする施設のことかが不明なので、明確にしていきたい。</p>	<p>圏域につきましては、川や線路等を考慮した徒歩圏域となっております。対象施設は、P11 記載の「重複対象とする施設一覧」のとおりです。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>

41	11	<p>どのくらい圏域が重複しているかを示しており、色の濃い部分が重複を示しています。</p> <p>→色の濃い部分が重複と書いているが、どこの部分のことを説明しているのかわからないので、明確に記載願いたい。</p>  <p>赤枠でくくったところが、濃い部分として重複とするならば、凡例で「施設から〇〇圏域で重複がある場所」として、薄い赤い色になっている。濃い部分だけなのか赤い部分も全てなのか矛盾があり判別できない。凡例と地図が合致するように、明確に地図を修正していただきたい。</p>	<p>色の濃い部分が重複している箇所となります。</p> <p>複数施設の圏域が重複している場合、色が重なるため、より濃く表示されております。</p> <p>凡例を分かりやすく修正します。</p>	<p>一部ご意見を反映します。</p>
----	----	---	--	---------------------



42	11	<p>重複度合いの抽出に際しては本計画の対象施設に加えて、本市所有の貸室機能を持つ施設も対象にしました。</p> <p>→これを含めた理由を明確に記載していただきたい。むしろ、含めないもの、含めたものを2つ作成しないと、比較の材料にならないので2つ記載ください。例えば、南平体育館と地区センターでは、利用に掛かる費用が異なるため、一緒にして検討するのは、あたかもコミュニティ施設を減らすことが前提であると思えない分析になっているので、修正して記載願いたい。第3者目線で検討をしていただきたい。また、「本市」とは何のことを言っているのか? 「日野市」であることは理解しているが、こういう記載をすると、単純にコンサルが持ってきた一般的なものを適用して適当に検討しているように見える。すべて「本市」を日野市に変更して記載していただきたい。日野市が財政難で、適正なコミュニティ施設の配置を検討していると思いたいが、国から指針が出たのでただやってます感が否めない。そうであれば、最初のページのほうで「日野市(本市とする)」などの注釈が必要である。その場合は、日野市ときさいしているところは「本市」に修正願いたい。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>本計画対象施設の適正配置を検討する上では、同様機能(貸室機能)を有する公共施設との機能重複状況も考慮する必要がありますと考えております。</p> <p>また、「本市」と「日野市」の記載につきましては、「本市」に統一させていただきます。</p>	一部ご意見を反映します。
43	11	<p>地区センター66館、交流センター8館</p> <p>→前段では、66施設という単位であったが館に変更した理由を明確に記載していただきたい。また、交流センター8館は、前段では交流センター他で11施設にしていた。この表では、8施設と3施設が別々になっており非常にわかりづらいので11施設は一緒にして記載していただきたい。</p>	<p>「館」と「施設」の記載については「施設」に統一させていただきます。</p>	一部ご意見を反映します。

44	11	<p>また、将来的に安全・安心なコミュニティ施設を市民に提供するため、土砂災害区域及び浸水想定区域に立地している施設の確認を行いました。</p> <p>→日野市防災ハンドブック(令和5年3月保存版)を確認していますでしょうか?この中には、早期の立ち退き避難が必要な区域として、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、家屋倒壊氾濫想定区域(河岸浸食。氾濫流)、家屋が水没するおそれのある区域、その他の浸水想定区域等が示されている。それぞれに関して検討すべきである。また浸水想定区域は明確に「洪水浸水想定区域」と記載すべきで、最大想定規模なのか、計画規模なのか分からないので、明確に記載願いたい。こういった用語については正確に記載しないと、事故につながる可能性がある。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>P15,P16のタイトル部分の記載誤りについては修正いたします。</p>	<p>一部ご意見を反映します。</p>
45	11	<p>重複対象とする施設(表)</p> <p>→生活・保健センターは本計画の対象ではないのに、対象とする勤労・青年会館より上に位置して記載されているのか説明を記載ください。8施設と3施設の区別がこの生活・保健センターが入っていることによってわかりづらくなっている。</p>	<p>ご指摘を踏まえて修正させていただきます。</p>	<p>ご意見を反映します。</p>

46	12～14	<p>地図 →凡例で、交流センター、その他コミュニティ機能の区別がわからないのでわかるように記載してください。もともとの本計画の対象は、地区センターと交流センター他だったが、交流センターに「他」が外され、交流センターとその他コミュニティ機能に分けたとき、この「他」に当たる3施設がどちらに入るのかが凡例からは判断できないのでわかるように記載ください。</p> <p>特に明確にしていいただきたいのは、徒歩距離と直線距離、本市所有の貸室機能を持つ施設からの圏域も記載しているのかということです。本来であれば、対象施設から〇〇圏域に本市所有の貸室機能を持つ施設が入っているのは良いが、本市所有の貸室機能を持つ施設から〇〇圏域を記載して含めるのは分析としておかしいので、そういう風になっていないかの確認です。</p>	<p>P12～P14の図は、P11に記載している「重複対象とする施設」各施設からの徒歩圏域（300m、400m、500m）を黄色で示しており、重複している部分を赤色で、重複する圏域が多い部分は濃い赤色で示しております。凡例については修正します。</p>	一部ご意見を反映します。
47	15～16	<p>地図 → P12～ P14 と統一感がないので、地図上に各プロットした対象の施設の名称を記載ください。</p>	ご指摘を踏まえて修正させていただきます。	ご意見を反映します。
48	16	<p>タイトルは正確に記載ください。土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域及び・・・ではないか?レッドゾーン、イエローゾーンは明確に分かれているとはずなので、名称も分けてください。</p>	タイトル部分の記載誤りを修正いたします。	ご意見を反映します。
49	17	<p>将来のコミュニティ施設の適正配置、適正管理方針について検討 →本計画は令和6（2024）年度から令和34（2052）年度までの29年間の計画であり、「将来」と記載するのはおかしい。明確に期間を記載していただきたい。</p>	ご指摘を踏まえて、「将来の」は削除させていただきます。	ご意見を反映します。

50	17	<p>下表に記す 4 つの情報を抽出後、建物総合評価及び行政サービス総合評価の 2 軸の評価指標に基づき、77 施設について分析・評価します。 → 4 つの情報に絞った理由が不明確ですので、記載してください。 様々な論文で、コミュニティ施設の分析をハード評価・ソフト評価の 2 軸で PPM 分析を行っているので、本計画でもハード評価・ソフト評価の 2 軸で評価するのは理解できる箇所はありますが、評価する上でのハード評価・ソフト評価の詳細項目は各自治体特有であるかと思えます。その点を踏まえてなぜこの項目による評価方式にしたのが説明不足です。記載をお願いします。</p>	<p>本計画の対象施設に共通する課題である、老朽化や安全性、機能重複や維持管理コスト等の状況を整理する項目として、4 つの指標を設定させていただきました。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
51	17	<p>なお、施設実績度で採用する利用者一人当たり施設維持コストは、地区センターと交流センター等では係るコストが異なるため、同種施設毎に分析を行います。 →この施設維持コストというのは何か説明がないので記載ください。P10 の管理運営費用のことなのか、明確に記載していただきたい。また、本計画においては、この施設維持コストが高い方が良いのか、悪いのかわからないので記載ください。稼働率が高くなれば施設維持コストは高くなった方が良いと思われるが、一般的にコストと言えば、高くないほうがよいわけでその指標がどうなのかわからないので明確に記載していただきたい。</p>	<p>施設維持コストは、施設の維持管理、運営に係る光熱水費、委託費、人件費、修繕費等の費用です。 平均値に対して当該施設のコストが低い場合は指数（ソフト評価）が高く、平均値に対してコストが高い場合は指数（ソフト評価）が低くなります。 説明が不十分な部分を修正します。</p>	<p>一部ご意見を反映します。</p>

52	18	<p>建物総合評価（ハード評価）及び行政サービス総合評価（ソフト評価）の2軸の評価指標に基づき、次の表に示すように4類型に分類した施設評価の検討を行います。</p> <p>→このグループの分類が非常に乱暴な分類であることを否認しません。例えば鹿島台地区センターにおいては、何度も何度も市長やマスタープラン、地区防災計画に対して建て替え要望等を出しています。しかしながら、一向にアクションがない。それでいて、ハード評価・ソフト評価が低いからグループDで抜本見直しというのはおかしいとか思えない。単純なことを言えば、このグループDにするために市民の安全が脅かされている場所に建設されている地区センターを放置してきたのではないかと考えます。</p> <p>その点を考慮して、要望してきたのにもかかわらず日野市の怠慢で対応できなかったところは、グループEに分類して対応を検討中に入れるなどしていただきたい。この問題は鹿島台地区センターだけの問題でないと考える。すでに予算化され実行されていなければいけない案件である。グループE（グループA～Dとは別のグループとして前向き検討するグループ）を作成していただきたい。</p> <p>なお、地区防災計画のパブリックコメントでは、日野市より「避難所や避難場所の整備については、市全体の課題となっております。今後、市全体として、避難所や避難場所の確保に努めてまいります。」とあります。丘陵地帯に避難所がほとんどないことからコミュニティ施設の検討とともに合わせて避難所の検討を入れるべきである。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただき ます。</p> <p>本計画では、老朽度、健全度、重要度（立地）、実績度の4つの指標で評価した結果をA～Dのグループに分けておりますが、これは個別の施設の在り方を決定したものではありません。</p> <p>評価結果に基づく、施設類型ごとの方針につきましてはP34～P40に記載しております。</p> <p>また、個別の施設の方向性につきましては、さらに詳細な利用状況調査や地域住民、利用者との対話を進める中で決定していきます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
53	19	<p>PPM 分析</p> <p>→ハード評価の「評価」の文字が見切れている。見切れないように修正していただきたい。また、市民にチェックをさせるのではなく、きちんと市のほうで、フォーマットとか見切れているところとか確認</p>	<p>ご指摘を踏まえて修正させていただきます。</p>	<p>ご意見を反映します。</p>

		いただきたい。		
54	19	表 →上記の通り、グループ E を作成していただきたい。 また、それぞれの対応策に対して、何を実施してどういったメリット・デメリットがあるのかを明確に記載していただきたい。どういったことを実行するのか、この言葉だけでは不明。 P18 の表では D は「抜本見直し」であったが P 1 9 では「抜本的見直し」となっている。違いについて明確に際していただきたい。	ご意見として受け止めさせていただきます。 用語の不統一については修正させていただきます。	一部ご意見を反映します。
55	20	建物評価・健全度の表 →グループ分けで A~D を利用しているので混同してしまう可能性があるため、この表で A,B,C は使用しないでいただきたい。	ご指摘を踏まえて修正させていただきます。	ご意見を反映します。
56	20	施設重要度を 2 つの立地的観点から評価します →なぜ、施設重複度とハザード情報から施設重要度が算出できるのか説明を記載いただきたい。	施設の安全性の目安としてハザードエリア該当の有無、機能面の目安として同様機能（貸室機能）重複の有無を数値化いたしました。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
57	20	施設重複度=施設重複面積(平均)÷当該施設重複面積 →P22 以降の表では、上限値が 5 として評価しているが、上限値を 5 にする計算をどのようにしているのか明確に記載ください。特にこの計算式では、当該施設重複面積が 0 m <sup>2</sup> だった場合、計算できないわけで、なぜこの式を採用しているのか理解できないので説明していただきたい。	P21 に記載している通り、重複面積が 0 m <sup>2</sup> の施設は上限値の 5 点とします。他の指標とバランスをとるため上限値を設定しております。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
58	21	5 分程度で歩ける距離として 400m での重複度を数値化しました。 →マスタープラン策定時のパブリックコメントにも記載しましたが、	ご意見として受け止めさせていただきます。	市の考え方は左記のとおり

	<p>丘陵地では、400mを基準にするのは無理があるので修正していただきたい。マスタープランではバス停から交通バッファとして円を描いていましたが、丘陵地では難しいと提案して採用されました。この本計画においても、場所の特性を考慮して記載ください。そもそも論として、日野市はラストワンマイルの検討や対応が一部の地域に偏ってしまい、遅れているとしか思えないので、状況を記載ください。本計画にとって重要なファクターと考えます。</p> <p>マスタープラン策定時の記載は、「丘陵内のアクセス利便性も検討課題に挙げることが必要だ。後期高齢者が前述したとおり、自宅前から丘陵上にあるたった100mの地区センターまでタクシーを利用している」状況であり、選挙投票に行くことすらできない方も増えている。(以下略)」とコメントし、日野市からは、「地域内の移動に関しては「2-4. ②暮らしを支える公共交通網の充実において『・既存のバス交通システムの路線やダイヤの見直しだけでなく、デマンド型交通や住民運転型コミュニティ交通等の地域住民との協働事業、電動車椅子やゴルフカートのような小型モビリティを利用した地域内フィーダー交通の実証実験・本格実施、タクシー業者との連携等の様々な手法を用いて、地域の実情に応じた対応策を検討していきます。新たな交通システムの利用に併せて、人や移動手段が滞留できるような空間については、周辺の公共空間等との一体的な利活用方法を検討します。』の記述を行っています。」との回答がありました。</p> <p>徒歩圏の検討の前に、もっと検討すべきことはたくさんあり、移動手段があれば、ある程度の距離は問題にならなくなってきます。総合的に判断して数値化して記載していただきたい。日野市がマスタープランや地区防災計画で自ら計画している事項であることを再度記載しておきます。</p>	<p>施設により、傾斜や交通事情などの状況に差異がある事は認識しております。</p> <p>個別の施設の方向性を決定する際には、距離だけでなく、傾斜地等の移動に係る負担や動線を考慮して実態に即した検討を進めてまいります。</p>	<p>です。素案の変更は行いません。</p>
--	--	--	------------------------

59	21	<p>本市 →このページでもたくさんの「本市」が出てきます。上記記載同様です。</p>	<p>項番 42 と同様</p>	<p>一部ご意見を反映します。</p>
60	21	<p>土砂災害区域及び浸水想定区域のハザードエリアへの立地の有無を数値化 →まず理解していただきたいのが例えば鹿島台地区センターは土砂法(土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律)の第二十四条の第二十四条「別警戒区域における土砂災害の発生を防止するため、建築基準法第二十条第一項に基づく政令においては、居室を有する建築物の構造が当該土砂災害の発生原因となる自然現象により建築物に作用すると想定される衝撃に対して安全なものとなるよう建築物の構造耐力に関する基準を定めるものとする。」に抵触しているということです。鹿島台地区センター建設時にはこの法律はなかったというのは単なる言い訳であり、市民の人命を脅かしていることは明白です。そういったコミュニティ施設の稼働率が高くなるわけないかと思えます。稼働率は、稼働率が低いからソフト評価が低いというのは本末転倒と考えます。この点に関して、回答を明確に記載ください。 また、法律の関係から、土砂災害警戒区域(特に土砂災害特別警戒区域)は1点でよいと考えますが日野市の見解を記載ください。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。 ハザード情報の配点につきましては一部見直しをさせていただきました。</p>	<p>一部ご意見を反映します。</p>



61	21	<p>貸室稼働率指数=全施設平均値÷当該施設貸室稼働率  →この計算の意図が不明。当該施設貸室稼働率が 0 %だった場合、計算できないので修正いただきたい。また、通常 PPM 分析をする場合は、縦軸、横軸の点数が高い方が良いとするはずであるが、この式の場合、全施設平均値より当該施設貸室稼働率が低い方が、指数が高くなることになる。なぜ、これで問題ないのか説明ください。また、全施設平均値を基準にしている(分子なので基準ではない?)というか、利用しているが、「全施設平均値」を基準にするのはおかしいので基準を変更して分析していただきたい(平均は指標の中心にするべきではない)</p> <p>平均値を利用するのであれば、明確に理由を記載ください。また、「全施設平均値」って何の平均なのか、どのような計算式なのか明確に記載ください。</p> <p>そもそも稼働率の「%」を「%」で割ることに何の意味があるのか教えていただきたい。</p>	<p>貸室稼働率の計算は、本計画対象施設の平均値に対して当該施設の利用率が高いか低いかを指数化したものです。平均値に対して当該施設の利用率が高ければ指数は高くなり、利用率が低ければ指数は低くなります。本文中の計算式の記載に誤りがございましたので修正いたします。</p>	一部ご意見を反映します。
62	21	<p>1人当りの維持管理コスト指数=グループ施設平均÷当該施設コスト  →この計算式についても説明を記載いただきたい。また「グループ施設平均」は何の平均なのか、どのような計算式なのか明確に記載ください。</p>	<p>グループ施設平均は、本計画対象施設を地区センターと交流センター等の 2 グループに分け、グループごとに求めた利用者 1 人当たりの維持管理コストの平均です。  説明が不十分な部分を修正します。</p>	一部ご意見を反映します。
63	22~23	<p>表  →表の数値の元データを参考用でも良いので、表として添付していただきたい。上記の計算式の不明度から、この数値自体を鵜呑みできない。また、一部赤字になっているところがあるが、凡例がないためなぜ赤字なのかかわからないので凡例を記載願いたい。マイナス値と言う</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。  赤字につきましてはご指摘を踏まえてマイナス値に統一させていただきます。</p>	一部ご意見を反映します。

		わけでもないようである。		
64	24	<p>表 →まず、P22,23 からどのようにして、ハード評価の縦軸、ソフト評価の横軸の数値に落とし込んだのか説明を記載いただきたい。</p> <p>また、平均値を評価中心において PPM 分析するのではなく、あるべき姿（ビジョン）を中心にして記載していただきたい。現状の中心では、現状の実態を反映しようとしただけで、本計画である令和 6 (2024)年度から令和 34 (2052)年度までの 29 年間の計画のある程度将来を見据えた中心ではないからである。</p> <p>このグループ D に入る地区センターは、ある意味、日野市の行政サービスの怠慢や放置という行為が引き起こしたものが多くと考えられ、そのグループ D の値を平均値に使っているので、あるべき姿からは遠いとする。確かに、あるべき姿を考えた場合、中心値の位置が変わりグループ D の施設数が増えたとしても、実行すべきことは実行する必要があることから、検討していくことでよいかと考える。なお、何度も上記に記載しているが、鹿島台地区センターのように、すでに何年も前から要望している地区センターはグループ E としての扱いで検討願いたい。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>説明が不十分な部分は修正します。</p>	一部ご意見を反映します。
65	29～33	<p>現状よりより詳細でかつ具体的に数値を示しつつ、検討するプロセスを明確にして説明して記載していただきたい。同じ規模の建設とした場合としても、例えばすべて建て替えたとして、地区センターが、建替え単金 × 6 6 施設にはならないと考える。地区センターによって規模が違うはずである。少なくとも国などが出した指針の単金等を利用するのではなく、同じ規模であれば今までの実績など、ある程度それぞれの地区センターに対して規模が想定できると考える。特に、今までの実績があるわけであるから、分析可能であるわけである。例え</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>P30,P31 に記載している単価は 1㎡あたりの単価です。各施設の改修、建替えに要する費用は、施設ごとに単価×延床面積で求めておりますので、施設の規模が反映されています。</p> <p>単価に単位 (㎡) を追加します。</p>	一部ご意見を反映します。

		ば、今までの実績の改修の中で、「予防保全型」にしていたらどのようにコストが掛かったかシミュレーションして記載していただきたい。		
66	29～33	最低限、単純に国の指針の単金と、実際との差異分析を行っておかないと、差異が大きくなってしまう可能性がある。差異分析を記載ください。	ご意見として受け止めさせていただきます。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
67	29～33	単純建替えと長寿命化の比較において、「木造 コンクリートブロック造」については、どちらも30年で建て替えという計画であることからどちらの比較においても変わらない。したがって「木造 コンクリートブロック造」と「鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄骨造」とを各々で価格費用のグラフを作成していただきたい。この理由として、今回計画の77施設において「木造 コンクリートブロック造」の建物は55施設であり、7割以上であり、3割分の比較となり、わかりやすくなると思う。	ご意見として受け止めさせていただきます。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
68	29～33	3割部分（「鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄骨造」）の計画を、20年単位だけ計画しているが、10年単位にしたらどうなるのか、などこの部分を深掘して分析して記載していただきたい。	ご意見として受け止めさせていただきます。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
69	29～33	P20の区分では鉄骨造鉄筋コンクリート造60年、組積造(レンガ・ブロック)木造30年と記載されている。しかしP31の表では対比が取れない。文言を統一して記載していただきたい。	用語の不統一についてはご指摘を踏まえて修正させていただきます。	ご意見を反映します。
70	29～33	7割に当たる、55施設（「木造 コンクリートブロック造」）に対して、適正配置をおこなうということしか記載されていない。7割	ご意見として受け止めさせていただきます。	市の考え方は左記のとおり

		に当たる施設の分析なくして、この本計画の意味があるのか、きちんと分析をして記載していただきたい。		です。素案の変更は行いません。
71	29～33	P31 には、「建替え時期を既に過ぎている施設については今後 10 年間で均等に建替えを行うものとし、築 50 年を超えている場合は長寿命化改修を実施しない前提とします。」とある。P30 の推計の前提条件に同文を記載ください。	P30 は単純建替えの試算となっており、築年数に関わらず長寿命化改修は行わず、使用期限を迎えた時点で建替える前提となっております。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
72	29～33	P31 のグラフ上では、10 年間平均の建替えに関わる費用が計上されていないのでは? 2030 年は 2030～2034 年が 0 になっており、前提条件と矛盾するのでグラフに入れて記載ください。同様に、P30 のグラフにも 10 年平均の建替えにかかわる費用を計上して記載していただきたい。	建替え費用につきましては 2029 年度までに含まれております。本文中、分かりづらい表現を修正します。	一部ご意見を反映します。
73	29～33	P32 に「一方、令和 2 ( 2020 ) 年から令和 4 ( 2022 ) 年までの 3 年間に本市所有のコミュニティ施設の整備経費として費やしたコストは平均 0.15 億円/年ですので、現在保有している施設を全ての大規模改修や建替え経費を賄うためには、現在の整備経費の 8～9 倍の経費が必要となります。」とあるが、この詳細を添付してください。この費用が基準にはならないと考えている。本来では、すでに使用期限が過ぎているコミュニティ施設は建替えが必須な状況であり、その予算を計上しているのが通常と考える。その予算が、今後これだけのことを実施すると予算を超えることとなりますという理論ならわかるが、「平均 0.15 億円/年」が基準でないのでこの記載は削除してください。	平均 0.15 億円/年は現在の予算規模です。推計結果では、単純建替え、長寿命化とともに、現状の予算規模と比較すると 8～9 倍の予算が必要となる事を説明しております。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。

74	29～33	<p>P32「今後の人口減少社会に伴う財源縮減を前提にすれば、費用発生を将来に神はすことで、施設の最適な適正管理方針の検討期間を確保することに加えて、将来の行政サービス需要に柔軟に対応できるメリットが生まれます。」とあるが、ここは具体的に記載示してください。まず、将来はいつですか?行政サービスの需要というのはどういうことですか?通常予算を計上した場合、その目的以外に使用されるのは手続等が必要になるかと思しますので、柔軟に対応できるメリットが生まれるのか甚だ疑問です。この裏付けを記載してください。費用の発生を将来に延ばすのではなくて、使用期限が過ぎたものは、早急に対処することが必須であり、その理由として人命を脅かす場所など、早急に対処する必要があることを記載してください。また、P30 と P31 のグラフを比較した場合、2039年までは単純建て替えでは費用が掛かるが、それ以降はほとんど掛からず、2039年以降にも費用がかなり掛かる長寿化のほうが問題ありと見えます。日野市が危惧する、人口減少とかを加味すれば、今費用をかけて建替えを行い、将来的にかかる費用を少なくして、その間に次世代の計画を立てる方が良いと思しますので、この部分については納得できるような確証や数値を含めて(定性的理由だけでなく定量的理由含めて)記載ください。すくなくとも、計画期間における費用は単純建替えのほうが費用が掛からないと分析しているわけですから、その分析を無視してこの結論はありえない。「単純建替えでは、多額の経費を伴う施設更新額が長寿命化対策を行うより前に発生します。」これが別に問題であるわけではないです。建替えたことによるメリット(防災拠点になる、災害時支援物資の拠点になる、避難者受入できる)などもメリットもあるかと思えます。そのメリットと前倒しに費用を使ってしまうデメリット(?)ときちんと比較して記載ください。</p>	<p>上位計画である「日野市公共施設等総合管理計画」では、公共施設総量削減の目標値を設定し、「縮充」の考えの下で、機能重複の解消、多機能集約化、民間活力の導入などに取り組むこと、また、今後の人口構造の変化によって求められる公共施設の在り方に柔軟に対応していく事を目指しています。コミュニティ施設においても、現状施設の適正な維持管理と同時に、総量削減の視点をもって適正配置の検討、重複機能の解消、現代のニーズに合わせた施設へと変化していく必要があると考えております。</p> <p>以上のことから、使用期限を迎えた施設を、現在の施設数、規模をそのまま単純に建替えを行うのではなく、現代のニーズや施設の在り方を市民や利用者の皆様と共に検討し、適正配置の方向性を決定していく時間が必要と考えております。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
----	-------	---	--	------------------------------------

75	29～33	P33 に保全計画があるが、建替え計画についても記載してください。まずは、安全な場所や、安全な建築物にした後、計画するのが良いかと思えます。特に建替え必須なコミュニティ施設は、予防保全の対象外が多いので、建替え費用は計画しやすいと思えます。	P32「経費推計の検証」に記載のとおり、保全計画は単純建替えではなく長寿命化を実施する事を基本とした計画とします。また、計画には建替えの見込みも含まれております。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
76	29～33	60年から80年の20年しか伸びないのであれば、長寿命化改修する必要があるか疑問です。なぜ20年の延長なのか記載ください。	適切なタイミングで長寿命化改修を行うことで建物の耐用年数を伸ばす事が可能となるため、本計画では、築40年で長寿命化改修を行い、その後40年間(築80年)まで長寿命化を図る事を目安としております。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
77	29～33	このページにおける用語も統一されていないので修正ください。(例: 前期改修、後期改修と大規模改造など)	用語の不統一についてはご指摘を踏まえて修正させていただきます。	ご意見を反映します。
78	29～33	P29の図は、年々社会的要求水準が上がっていくという見方で良いでしょうか?そうであれば、社会的要求水準は、60年後は単純建て替えても長寿命化を反映の場合でも同じ位置になるかと思えますが、位置が違ふようです。社会的要求水準とは何か、許容できる性能の水準とは何かを明確に記載ください。ハードなのかソフトなのかも不明です。	建物を長期的に使用するためには、必要な改修等の水準や将来の社会的要求水準の高まりへの対応が必要となります。具体的には、耐震対策、防災・防犯対策、事故防止対策、バリアフリー対策、トイレ改修、環境対策などのハード面を示しています。なお、図は建物のライフサイクル上の対策イメージを表したもので、ノンスケールの部分もあることはご了承ください。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。

79	29～33	P30、 P31 のグラフのタイトルですが、 工事費推計となっていますが、文章中の経費とは別ですか?そうであれば、経費と工事費の比較の記載を追加してください。 また、累計工事費はどちらもほぼほぼ同じなので、工事費のスケールは、どちらも合わせて記載ください。比較ができません。	ご意見として受け止めさせていただきます。 用語の不統一及び分かりにくい表現についてはご指摘を踏まえて修正させていただきます。	一部ご意見を反映します。
80	29～33	グラフ上の金額の単位は (千円) ですが、文章中では億円や万円など様々になっており、 わかりづらいので、統一して記載ください。	ご意見として受け止めさせていただきます。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
81	29～33	P 32 で、 年平均 1.2 億円と表現したり、平均 0.15 億円/年と統一感がない。 記載を統一するよう修正ください。	ご意見として受け止めさせていただきます。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。
82	29～33	適正配置については、今後の人口減少によりコンパクトシティやスマートシティ(または、市が消滅)になることなどを想定すれば、実行することに反対はないがタイミングがあり、また、この本計画の稚拙な分析では判断できない。現状の PPM 分析の項目だけでなく、様々な項目を考慮する必要があると考える。ラストワンマイルの解消や、ICT の利用、VR などの活用等を取り入れていけば、必然と不要な施設またはもっとコンパクトな施設に変化していくのは当然であるので、地域住民に密接にかかわるところは、丁寧な説明と、短期間での PDCA サイクルを回すことをこの計画に記載していただきたい。	ご意見として受け止めさせていただきます。 本計画では対象施設全体に係る基本的な考え方を整理しております。具体的な個別施設の方向性について検討する際には、さらに詳細な利用状況調査や地域住民、利用者との対話を進めてまいります。	市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。

83	29～33	<p>現状の本計画では、「ただし、地区センターについてはすでに使用期限 30 年を経過している施設が多く、全ての施設を現状規模で建替えるのは財政上困難であることから保全計画には含めず、適正配置を検討していく事とします。複合施設の地区センターについても、主となる施設の方針に倣うため除くこととします。」とあり、あるべき姿を検討し、検討内容を記載してください。本計画にこの計画がないことが非常に遺憾である。もうすでに使用年数が倍になっているということは、単純に言えば P29～33 に記載されていた財政を使わずにすんでいたのが貯蓄されているというのが当然の考え方である。しかしながら財政難というのは今までの計画に関しても明確に記載する必要があるので記載ください。今 2024 年に突如発生した課題ではないはずです。その辺をきちんと明確にして、この計画に記載ください。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。 コミュニティ施設の管理運営に関する計画は、本計画以前にはございません。今後は、本計画の方針に基づき計画的に進めてまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
84	29～33	<p>よく、パブリックコメントの回答で「検討します」とあるが、結局のところ「検討します」は実行していないに等しいところがあるので、明確に実行できることを、実行します、実行しませんと回答を記載してください。「検討します」はやめていただきたい。「検討します」であれば、アクションアイテムを明確にして、いつまでにこういった成果を出すのかを明確に記載ください。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
85	35	<p>地図 →高低差がわかるように凡例等を加えてください。出典情報は問題ないでしょうか?問題あれば修正ください。</p>	<p>ご指摘を踏まえて修正させていただきます。</p>	<p>ご意見を反映します。</p>
86	36	<p>本計画には不要だと考えます。削除してください</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。 コラムにつきましては、市内外での多様な取り組みを紹介するために掲載したものです。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>



87	37	<p>交流センター等</p> <p>→この交流センター等という表現は、対象の 11 施設を表現しているわけであり、この表の 8 施設の中に記載するのは間違いであるので正しい記載に修正してください。</p>	<p>ご指摘を踏まえて修正させていただきます。</p>	<p>ご意見を反映します。</p>
88	40	<p>令和 6 ( 2023 )年 6 月</p> <p>→令和 6 年≠ 2023 ですので修正をお願いします。</p>	<p>ご指摘を踏まえて修正させていただきます。</p>	<p>ご意見を反映します。</p>
89	41	<p>今後の目標、短期目標、中長期目標、</p> <p>→本計画である令和 6 ( 2024 ) 年度から令和 34 (2052) 年度までの 29 年間である場合、今後の目標、短期目標、中長期目標はいつに対しての今後なのかを明確に記載ください。</p>	<p>今後の目標は、計画期間内における目標を設定しております。また、短期・中長期の区別につきましては、明確な期限ではなく目安として記載させていただき、具体的には、施設ごとに進捗が異なってくるものと考えてございます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
90	41	<p>日野市公共施設等総合管理計画に基づき、総量削減と同時に公共サービスを充実させていく「縮充」の視点をもって、地区センターの適正配置の検討を進めます。</p> <p>→確かに「日野市公共施設等総合管理計画」にて公共施設について、総量削減と同時に公共サービスを充実させていく「縮充」の視点をもって、適正配置することは記載されているが、地区センターについては明確に記載されていない。地区センターに関してはコンセンサスが取れていないという認識である。方向性としては、理解するが、計画策定しました、だからその通り進めますでは、地域住民は納得できないと考える。PDCA を回すうえで、P は Vision があり、状況により変化するものであり臨機応変に対応するべきであることを記載ください。</p>	<p>日野市公共施設等総合管理計画では、コミュニティ施設の適正配置を検討する必要があるとの考えを示した上で、短期目標として個別施設計画の策定を掲げております。</p> <p>これを受けて本計画では、コミュニティ施設全体に係る基本的な考え方を整理したものであり、個別の施設の方向性については、さらに詳細な利用状況調査や地域住民、利用者との対話を進める中で決定していきます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>

91	41	<p>検討にあたっては地域住民、利用者との対話を基本として進めていきます。</p> <p>→基本ではなく必須事項として記載ください。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>個別の施設の方向性を検討する際には、地域住民や利用者の声を伺いながら慎重に進めてまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
92	－	<p>ある意味、日野市が自治会を求め、防災会を求めという状況であるわけだから、コミュニティ施設の廃止はそれに逆行しているということを認識したうえで、地域住民と協力して進めるのが良いかと思いません。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>自治会や防災会は市の大切なパートナーと認識しておりますので、協力しながら進めてまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
93	－	<p>土砂災害警戒区域にある地区センターで、もし市民が災害に遭った場合、日野市としてどのように責任をとれるのかを考えておいた方が良いかと思いません。その点、切実な要望を出したグループ E に関しては、早期に検討を要しますので、本計画に明言して、2024～2025年度中に対応しますと記載ください。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>施設の立地や老朽化等の状況を考慮して検討を進めてまいります。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
94	－	<p>数値の扱い、グラフの書き方、用語の不統一、文字の見切れなど、あまりにも稚拙な計画書である。市民にパブリックコメントを求めるレベルに達していない。今回、一部のみ指摘したが全体的な見直しは日野市で責任をもって実施していただきたい。チェック機構がきちんと働いていないのではないかと、きちんと丁寧に作りこんでいるか甚だ疑問である。多少はしょうがないと思うが、きちんと読み返し、見返ししてチェックしていただきたい。</p>	<p>貴重なご意見として真摯に受け止めさせていただきます。</p> <p>今回いただきましたご指摘箇所につきましては修正いたします。</p>	<p>ご意見を反映します。</p>

95	41	<p>&lt;原文&gt; それぞれの地域コミュニティに必要な、現代のニーズに合った施設の在り方の検討を進めます。</p> <p>&lt;追記提案&gt; それぞれの地域コミュニティに必要な、現代のニーズに合った防災・減災の視点も加味した施設の在り方の検討を進めます。</p> <p>(提案理由) 災害時に避難所となる施設はエネルギーの確保が重要であり、電力インフラ途絶時にも九兆や電力供給が出来る停電対応型空調の導入検討が必要です。</p> <p>上位計画の公共施設等総合管理計画(P43,第二章)でも、市民や利用者の安全を最優先にすると示されており、防災拠点としての指定がされる公共施設には、災害による大規模停電発生時の避難所機能を確保する為、72時間を超える停電に対する備えとして停電対応型GHPなどの自律分散型エネルギー等のエネルギーの自立化、多重化の確保が重要と考えます。</p> <p>また、災害時のみならず、通常時においても活用できる高効率な停電対応型GHPによる自律分散型エネルギーの普及拡大への取り組みは、安定したエネルギーの確保と地球温暖化対策とを両立できる取り組みとして有効であると考えております。</p> <p>防災・減災対策との横断的連携により推進する施策についてはフェーズフリーの考え方を含む多角的な視点から検討するなど柔軟な考えを取り入れていく必要があります。</p>	<p>ご意見ありがとうございます いただいたご意見につきましては、具体的な施設の方向性について検討する際の参考とさせていただきます。</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の変更は行いません。</p>
96	-	<p>太陽の光や自然の風を取り入れるなどの自然エネルギーの利用等による省エネルギー性能(=パッシブデザイン)の導入と共に、安定的に省エネ性を補う設備・システムの高効率化技術であるアクティブデ</p>	<p>ご意見ありがとうございます いただいたご意見につきましては、具体的な施設の方向性について検討する</p>	<p>市の考え方は左記のとおりです。素案の</p>

	<p>ザインの検討が不可欠です。風水害等天候不良時の再生可能エネルギーのデメリットとして、親和性の高いCGS（コージェネレーションシステム）・停電対応型GHP導入を提案いたします。脱炭素社会を実現するためには、様々な環境負荷低減の取り組みや配慮が必要であり、建物のエネルギー消費性能の向上に加え、エネルギー効率の高い機器の採用による省エネルギー化は極めて重要になります。</p>	<p>際の参考とさせていただきます。</p>	<p>変更は行いません。</p>
--	---	------------------------	------------------